

令和4年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和5年6月27日

部	教育委員会生涯学習部	課	生涯学習文化課
---	------------	---	---------

施設名・所在地	函館市芸術ホール 函館市五稜郭町37番8号		
設置条例	函館市芸術ホール条例		
指定管理者名	公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団	指定期間	平成30年(2018年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日までの5年間
指定管理者の特別な要件		選定区分	<input checked="" type="radio"/> 公募 <input type="radio"/> 非公募
設置目的	市民に芸術文化に関する活動の場を提供し、もって本市の芸術文化の振興に寄与するため		
設置年月	平成10年5月	建設費	3,787,000千円
構造規模等	鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階地上4階建 建物延床面積5,945.71㎡ ホール(音楽用712席, 多目的842席), ギャラリー, リハーサル室, 練習室1号, 練習室2号 ほか		
開館時間	開館時間 午前9時～午後10時, 駐車場24時間供用		
休館日等	休館日 年末年始(12/31～1/3), 器材点検日(随時)		
料金体系	利用料金制の採用の有無 有		

1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況

(1)管理業務

ア 施設の維持管理に関すること(清掃, 警備, 施設・設備保守点検, 駐車場管理, AEDの管理, 備品管理等)

イ 文化芸術を振興する事業の実施に関すること(鑑賞型事業, 参加創造型事業, 育成学習型事業, 文化芸術活動に対する奨励・協力事業, ほか市の文化芸術の振興に資する事業等)

鑑賞型事業

- ・芸術ホールキッズ・フェスティバル2022
- ・避難訓練コンサート
- ・リサイタル・シリーズ 上野耕平サクソフォンリサイタル公開クリニック
- ・リサイタル・シリーズ 上野耕平サクソフォンリサイタル
- ・リサイタル・シリーズ N響メンバーによる弦楽四重奏コンサート
- ・N響メンバーによる弦楽四重奏クリニック
- ・金子三勇士キッズコンサート
- ・リサイタル・シリーズ 金子 三勇士ピアノ・リサイタル

参加創造型事業

- ・函館市民文化祭 展示部門(清秋・函館市文団協芸術展, いっだん秋の庵)
 舞台部門(華麗・錦秋の舞台～平和～)

育成学習型事業

・バックステージツアー キッズ・フェスティバル編、一般編

・演劇ワークショップ(2回)

奨励型事業

・HAKODATE WINTER JAZZ FESTIVAL

・ピアノコンサート・フォー・ユー

・市民美術展「はこだて・冬・アート展」(特別公開講座、展示)

ウ 利用者に関すること(案内・説明、使用受付・使用制限、連絡調整、情報提供、苦情対応等)

エ 利用料金に関すること(利用料金の請求、減免等)

オ 公金収納業務に関すること(芸術ホール駐車場使用料の徴収・収納)

カ その他教育委員会が定める業務(生涯学習情報の提供、各種書類の整理保管、市への報告等庶務業務等)

(2)自主事業

ア 文化振興事業(鑑賞型事業等)

鑑賞型事業

・春風亭小朝独演会

・ドリームコンサート 渡辺貞夫カルテット2022

・令和4年度 函館新人演奏会～音楽の新しい風～

・bふらっとコンサート(4回)

・bふらっとコンサートSPECIAL

・函館市芸術ホール2022スプリング・コンサート 石丸典子メゾ・ソプラノリサイタル

イ チケット販売

ウ 関連グッズ等の売店事業

2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績

ア 広報誌「ステップ・アップ」、ホームページ、ラジオ、地元新聞、施設案内パンフレット等による広報

イ 苦情処理、緊急時対応の体制整備

ウ 職員研修の実施

3 市民ニーズの把握の実施状況

ア 利用者懇談会の実施(書面開催 令和4年7月14日 8団体参加)

イ 施設利用者アンケートの実施(1階モールにアンケート箱を設置)

ウ 主催事業アンケートの実施(主催事業実施の際に来場者アンケートを実施)

4 施設の利用状況

・令和4年度の月別利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	4,785	2,886	5,824	6,515	5,356	8,101	10,557	7,902	5,955	4,230	7,742	5,467	75,320

・年度別利用者数

	← 当期指定期間 →			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	139,617人	28,026人	49,918人	75,320人
使用料収入	—	—	—	—

※ 平成30年度から利用料金制

・令和4年度駐車場月別利用台数

(単位:台)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用台数	20,134	19,226	16,134	19,723	21,953	20,638	19,733	15,696	11,609	9,489	11,072	14,922	200,329

・駐車場年度別利用台数

← 当期指定期間 →

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用台数	238,482台	113,861台	133,548台	200,329台
使用料収入	55,814,500円	22,672,200円	24,369,600円	39,737,300円

5 指定管理者の収支状況

← 当期指定期間 →

(単位:円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入	委託料	181,142,000	181,799,508	181,021,000	185,915,671
	利用料金収入	26,099,205	8,465,859	15,258,394	20,337,006
	事業収入	5,581,461	5,205,722	7,315,623	6,182,856
	その他の収入	51,370	1,785,508	44,100	42,900
	自主事業収入	0	0	0	865,082
	前期繰越	75,759	3,320,707	4,158,630	4,497,630
	計	212,949,795	200,577,304	207,797,747	217,841,145
支出	人件費	49,815,755	46,512,218	44,677,216	48,731,629
	燃料費	42,115	31,493	34,305	61,890
	光熱水費	22,733,515	17,299,938	21,312,120	28,716,900
	委託料	89,539,552	89,058,109	88,799,947	90,120,641
	修繕費	3,711,524	3,850,583	7,848,984	5,551,194
	その他の支出	43,786,627	39,666,333	40,627,545	40,113,645
	計	209,629,088	196,418,674	203,300,117	213,295,899
当該施設の利用者一人当たり税金投入コスト		1,297	6,487	3,626	2,468

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 有

ア 管理業務実績報告書を毎月提出, 事業報告書・財務諸表を年次提出

イ 利用者アンケートを実施

ウ 評価シートによる自己評価を実施

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<ul style="list-style-type: none"> ・利用許可申請の受付、許可は、独自システムの導入により迅速に行うとともに、常時2人で利用者対応を行うなど適切に行っている。 ・職員等による毎日の施設巡回および適切な維持補修を実施している。 ・地域で活動する芸術家等の協力による事業や、市内の文化団体との連携による市民文化祭を実施した。 ・非常時マニュアルおよび緊急連絡網を作成し、緊急時の体制を整備している。 	<p>施設の老朽化を踏まえ、施設巡回を強化させ、安全かつ快適にご利用いただけるよう維持管理に努める。</p> <p>アフターコロナの時代を見据え、新たな文化振興の構築のため創意工夫を図りながら、地域の文化芸術に寄与する事業の実施を目指す。</p>
サービスの 質の状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇や舞台技術に関する研修等に積極的に参加し、職員の資質向上に努めている。 ・個人情報を含む書類は、キャビネットに保管し確実に施錠するなど、適正に管理している。 ・アンケート箱の設置、利用者懇談会、事業実施時のアンケート調査により利用者の要望を把握しその反映に努めている。 ・当財団独自に作成している無料広報誌をはじめ、ホームページや地元新聞等により、積極的に情報発信を行っている。 	<p>今後も接遇研修をはじめとした職員の資質向上のための研修や勉強会に積極的に参加し、引き続き質の高いサービス提供に努めていく。</p> <p>アフターコロナの時代に来館されるすべての利用者・来館者に戸惑いがないよう、安心して利用できる施設の管理運営に取り組む。</p>
団体の経営 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	<ul style="list-style-type: none"> ・事業収支および経営状況ともに適正に行っている。 	<p>今後においても、事業収支および経営状況ともにより一層適正に行うとともに、安定した事業運営に努めていく。</p>

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書を遵守し、事業計画書および業務処理要領に則り業務が行われている。 ・管理に適正な人員が確保されており、利用者対応や施設の維持管理、緊急体制の確保等、施設の管理運営が適正に行われている。また、委託の舞台技術員を常駐させることにより、貸室の利用者からの専門的な要望や事前の打ち合わせに対応できる体制を構築している。 ・新型コロナウイルス感染症に係る各種ガイドラインを遵守し、ソーシャルディスタンスの確保や検温、消毒等の感染対策を講じ事業を実施した。 ・利用者の意見・要望を参考に事業を企画しているほか、市民や文化団体と連携し、市民文化祭や市内で活動する芸術家のコンサート、美術展等を開催している。 	<p>築20年以上が経過し、老朽化により修繕が必要な設備も多くあるが、日頃から保守点検を行い異常の早期発見に努め、施設の維持管理を適切に行うとともに、市費による修繕が必要なものは優先順位を考慮しながら計画的に市に予算要求している。</p> <p>今後も来館者が安全に安心して利用できる環境の保持に努めていただくとともに、多種多様な事業を実施することにより、文化芸術に触れる機会や、文化芸術活動の場の提供を図り、親しみを感じられる施設の運営に努めていただきたい。</p>
サービスの 質の状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇やアートマネジメント、健康衛生に関する研修などを受講し、職員の資質向上を図っている。 ・利用者懇談会やアンケート調査などで利用者の要望を把握し、その反映・改善に努めている。 ・ホームページや当財団による無料広報誌「ステップアップ」、地元新聞やラジオの活用、職員が作成した事業のチラシ・ポスターの掲示により、積極的な情報発信を図っている。 	<p>接遇やアートマネジメントに関する研修など、各種研修を受講し、職員の資質向上に取り組んでいる。</p> <p>主催事業参加者へのアンケートや利用者懇談会により利用者の意見要望を把握し、実現が難しいものもあるが改善したものもあるなど、利用者ニーズに最大限対応しており、より良い施設運営への意欲が感じられる。</p> <p>今後においても、利用者のニーズを積極的に把握し、サービスの質の維持・向上に努めていただきたい。</p>
団体の経営 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	<ul style="list-style-type: none"> ・事業収支は適正であり、経営状況はおおむね良好である。 	<p>今後も、適正な事業収支、健全な経営の確保に努めていただきたい。</p>

◎ 「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎ 「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。